

公共事業の事業評価書

(林野公共事業の期中の評価)

令和 6 年 4 月

1 政策評価の対象とした政策

事業継続の検討が必要となった事業実施地区を対象として、期中の評価を実施した。

区 分	事 業 名	評 価 実 施 地 区 数
補助事業	民有林補助治山事業	4
国立研究開発法人事業	水源林造成事業	24
合 計		28

2 政策評価を担当した部局及びこれを実施した時期

評価の実施に当たっては、林野庁に設置している学識経験者で構成する林野庁事業評価技術検討会及び水源林造成事業評価技術検討会を開催し、専門的見地からの意見を聴取することにより客観性及び透明性の確保を図った。

(1) 評価担当部局

事業実施主体が収集・把握したデータ等をもとに、民有林補助治山事業については林野庁森林整備部治山課、国立研究開発法人事業の水源林造成事業については林野庁森林整備部整備課において実施した。（「事業評価担当部局一覧表」別添1）

(2) 評価実施期間

令和5年4月から令和6年3月

3 政策評価の観点

本評価においては、地元の意向を聴取するとともに、①費用便益分析の算定基礎となった要因の変化、②森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化、③事業の進捗状況等について評価を行うとともに、これらに基づき必要性、効率性、有効性の観点から総合的かつ客観的に評価を行った。

4 政策効果の把握の手法及びその結果

政策効果については、①費用便益分析の算定基礎となった要因の変化、②森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化、③事業の進捗状況等の評価項目を点検することにより、総合的かつ客観的に把握し、事業の実施方針に反映させた。

評価の結果については、「地区別評価結果」（別添2）のとおりである。

5 学識経験を有する者の知見の活用に関する事項

(1) 令和6年2月、3月に林野庁において、学識経験者で構成する林野庁事業評価技術検討会及び水源林造成事業評価技術検討会を開催し、専門的見地からの意見を聴取することにより客観性及び透明性の確保を図った。

同技術検討会での意見の概要は以下のとおりである。

- ・ 期中の評価実施地区の評価結果の案について、費用便益分析にかかる効果算定、環境面等の技術的・専門的な分析結果は妥当である。

(2) 事業評価技術検討会の委員構成は、(別添3)のとおりである。

6 政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報に関する事項

本評価を行う過程において使用した資料は、「地区別評価結果」(別添2)である。

なお、上記の資料は、林野庁ホームページで公表することとしている。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/sekou/hyouka/r5hyouka.html>)

林野庁事業評価技術検討会及び水源林造成事業評価技術検討会の資料等も、林野庁ホームページで公表することとしている。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hyouka/index.html>)

その他の資料についての問合せ先は、「問合せ先一覧表」(別添4)のとおりである。

7 政策評価の結果

対象となる28地区の評価を実施したところ、2地区については現計画を変更し、26地区については現計画により、引き続き、事業を継続することとなった。

各事業実施地区の評価結果は、「地区別評価結果」(別添2)のとおりである。

事業評価担当部局一覧表

1 補助事業

事業名	評価担当部局
民有林補助治山事業	林野庁森林整備部 治山課

2 国立研究開発法人事業

事業名	評価担当部局
水源林造成事業	林野庁森林整備部 整備課

地区別評価結果

1 補助事業

(1) 民有林補助治山事業

2 国立研究開発法人事業

(1) 水源林造成事業

令和5年度 期中の評価実施地区一覧表

1 補助事業

(1) 民有林補助治山事業

整理 番号	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 B (千円)	総費用 C (千円)	分析結果 B/C	実施方針
1	青森県	青森県	地すべり防止	長後	ちょうご	4,728,115	1,366,370	3.46	継続
2	愛媛県	愛媛県	復旧治山	椽尾山	とちおやま	614,526	483,004	1.27	継続
3	長崎県	長崎県	地すべり防止	石倉	いしくら	2,759,126	1,804,801	1.53	計画変更の上、継続
4	大分県	大分県	復旧治山	傾城	けいせい	1,627,776	886,220	1.84	計画変更の上、継続

令和5年度 期中の評価実施地区一覧表

2 国立研究開発法人事業 (1) 水源林造成事業

(単位：ha、千円)

整理番号	広域流域	指標年	事業対象区域面積	便益(B)	費用(C)	B/C	実施方針
1	馬淵川	50年経過分	284	13,733,248	11,060,350	1.24	継続
2		30年経過分	69	1,576,661	1,230,500	1.28	継続
3		10年経過分	53	567,078	395,111	1.44	継続
4	阿武隈川	50年経過分	242	12,372,329	9,665,895	1.28	継続
5		30年経過分	53	1,229,776	967,276	1.27	継続
6		10年経過分	75	898,802	572,556	1.57	継続
7	相模川	50年経過分	338	19,110,727	15,339,530	1.25	継続
8		30年経過分	14	413,959	332,998	1.24	継続
9		10年経過分	7	74,642	57,659	1.29	継続
10	木曾川	50年経過分	433	29,536,000	18,193,218	1.62	継続
11		30年経過分	211	6,263,223	4,045,384	1.55	継続
12		10年経過分	178	2,325,975	1,313,118	1.77	継続
13	紀ノ川	50年経過分	347	20,481,676	14,019,678	1.46	継続
14		30年経過分	80	2,251,927	1,533,773	1.47	継続
15		10年経過分	50	695,723	315,802	2.20	継続
16	芦田・佐波川	50年経過分	547	32,161,591	19,558,658	1.64	継続
17		30年経過分	78	2,046,207	1,268,090	1.61	継続
18		10年経過分	146	1,702,574	917,529	1.86	継続
19	遠賀・大野川	50年経過分	189	11,681,978	6,965,170	1.68	継続
20		30年経過分	183	4,986,250	3,069,092	1.62	継続
21		10年経過分	130	1,606,344	840,714	1.91	継続
22	川内・肝属川	50年経過分	277	19,570,395	9,910,905	1.97	継続
23		30年経過分	35	1,114,615	566,274	1.97	継続
24		10年経過分	72	1,179,567	413,916	2.85	継続

学識経験者等名簿

1 補助事業

役 職	氏 名
朝倉巖太郎公認会計士事務所公認会計士	朝 倉 巖太郎
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	柴 崎 茂 光
三重大学生物資源学研究科准教授	板 谷 明 美
京都府立大学生命環境学部教授	長 島 啓 子
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	堀 田 紀 文

2 国立研究開発法人事業

役 職	氏 名
信州大学学術研究院農学系教授	植 木 達 人
名古屋大学生命農学研究科教授	五 味 高 志
特定非営利活動法人森林をつくろう理事長	佐 藤 和歌子
京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授	平 山 貴美子
東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	吉 岡 拓 如

問合せ先一覧表

1 補助事業

事業名	事業主管課・室	担当者名	電話番号
民有林補助治山事業	林野庁 森林整備部 治山課	浜浦、坂口	03-3502-8111 (内線) 6195

2 国立研究開発法人事業

事業名	事業主管課・室	担当者名	電話番号
水源林造成事業	林野庁 森林整備部 整備課	藤野、大木島	03-3502-8111 (内線) 6175